

浜松市議会政務活動研究会会議録

1 開催日時

令和5年11月29日（水）午前11時00分開議

2 開催場所

市議会第2委員会室

3 会議に付した案件

- 1 海外視察に伴う報告について（自由民主党浜松）

4 出席状況

○出席委員（10人）

議長（座長）	戸田 誠	副議長	須藤 京子
委員	久米 丈二	委員	齋藤 和志
委員	平野 岳子	委員	北野谷 富子
委員	黒田 豊	委員	森田 賢児
委員	酒井 豊実	委員	馬塚 彩矢香

○欠席委員（1人）

委員 鈴木 恵

○議会事務局職員の職氏名

議会事務局長	村上 広幸	議会事務局次長 （議事課長）	鈴木 啓友
議会事務局参事 （議会総務課長）	清野 訓子	調査法制課長	徳田 純一
議会総務課副主幹 （議会総務グループ長 ・担当書記）	三田村 琴湖		

会 議

11:00

○戸田誠議長（座長） ただいまから第2回政務活動研究会を開会いたします。鈴木恵委員

から欠席の報告が入っておりますのでご了承ください。

市政記者の傍聴についてお諮りいたします。許可することよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○戸田誠議長(座長) それでは市政記者の傍聴については、許可することといたします。

一般傍聴人の傍聴についてお諮りをいたします。申し出があれば許可することよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○戸田誠議長(座長) それでは申し出があれば許可することといたします。

11:00

1 海外視察に伴う報告について (自由民主党浜松)

◎結論

自由民主党浜松より海外視察についての報告がありました。

◎発言内容

○戸田誠議長(座長) これより協議事項に入りますが、海外視察に伴う報告については、インターネット中継をしますのご承知をお願いいたします。

それでは、協議事項1の海外視察に伴う報告について、自由民主党浜松から報告をお願いいたします。

○稲葉大輔議員 自由民主党浜松です。お手元のタブレットで配信をさせていただきました視察報告書に沿いまして、報告させていただきたいと思っております。

今般8月22日から25日にかけて、視察日程表のとおり、台北市を中心に台湾の視察に出向きました。視察団は2ページ目にあります。議長を含め13名となっております。議長は公務出張で同行はしておりませんが、報告書の関係で追加させていただいております。5ページ目から視察報告の案内をつけておりますので、ご確認ください。

まず、初日は台北の台湾交流協会に出向いております。交流協会は、いわゆる外務省の出先にあたります。この問題で外務省の出先という看板をかけておりませんが、実質的には外交事業を担っているところであります。今回、ウクライナの問題や外交関係が緊迫していること、また、現役の自衛隊の職員が配属されているという今までにない状況があり、セキュリティは非常に厳しい状況でした。外からは全く分からないように、入館のセキュリティが非常に厳しく管理されておりました。我々が国内で感じていることと台湾の関係者が感じている空気感が大きく違うということ、まず印象として持ったというのがスタートでありました。

話に関しましては岡島副代表を中心に、現在の台湾の情勢、経済状況、軍事状況、あるいは内政について、いろいろと質疑をさせていただきました。私どもは視察の中で、経済

あるいは貿易その他いろいろと見てきたわけですが、このときに会話にあった中で関心が高かったのが、シェルターの設置ということであります。ウクライナ、そして今イスラエルの問題がありますが、台湾は爆撃に対しての備えとしてシェルターの確保を国としてしっかりやっています。核シェルターみたいなものをイメージされがちですが、実際は地下にある施設全てをシェルターとして使えるように、地下鉄やビルの地下部分の建設を促進、補助しています。その点、日本は圧倒的に遅れており、非常に危機感が薄いという、意識の違いを実感するものでありました。

そして10ページ目からは視察先の報告になります。榕錦のリノベーションですが、もともと台北の刑務所があった跡地であります。これについては、国が「文創」という考え方をもとに、各地の古い施設のリノベーションをしております。日本でイメージ的に近いところでは、赤レンガなどになります。台北は空襲もありましたが、それを避けて残った施設を生かそうということで、新しく若い世代や女性世代、あるいは施設の民間利用も含めて、官民連携で進めているところであります。ここには国の出先である学者の方も常駐していて、いろいろな活動を行っており、今台北の中では非常に注目されているスポットであり、コロナ禍を経て、観光客も大いに流入しているということが分かりました。

15 ページ目は台北市庁舎であります。ここでは中野市長と戸田議長が会談、そして協定の締結をするということで同席させていただきました。4ページ目に協定書があります。既にご案内のとおりですが、これまでの観光協定からかなり広範な相互協力を進めていくという協定に進歩して、そして新たな市長のもとに進めていこうということで、協定が結ばれました。メディアの数が相当いまして戸田議長も緊張されていたように思いましたが、台北市の大きさ、そしてまた、今回新しい蔣萬安市長の注目度もいろんな面で高いというのを感じたところであります。

16 ページ目ですが、皆さん方にも直接関係がある市議会についても視察させていただきました。地下に大きなコンベンションホールのようなものがあり、この写真のとおり映画館のようなスクリーンで報告の動画を見せていただくことになり、迎え入れ方が違うなど感じました。国内でも様々な都市の視察に行き、また浜松市としても迎え入れをしておりますが、伝え方のノウハウとか、あるいは考え方について、いろいろ勉強させられるところがありましたので、これからの浜松市議会としても参考にしていきたいと思えます。

17 ページ目は民間施設であります。I I I（トリプルアイ）という通称をしておりますが、デジタル系の外郭団体になります。ここは浜松市でいうF U S Eをイメージして視察しました。F U S Eはスタートアップに特化した新施設で、これから結果が問われるところではありますが、このI I Iの施設は歴史もあり、ビルを全て使いながら様々な事業を受け持っている、日本でいうと経済産業省の外郭団体に当たるようなところであります。その中でL i v i n g L a b +というところを見させていただきました。ここは新技術のスタートアップなどが新しく実験をし、民間、あるいは一般の方々も参加できるような施設になっています。ここは日本の自治体とも連携をしております、浜松にも昨年職員が

視察に来ています。台湾と日本との経済交流、民間交流は非常に盛んですが、自治体としてもより積極的に取り組む必要があるということで、視察をさせていただきました。先方も浜松市の持っているポテンシャルについて非常に高い関心を持っており、これから特に医療分野、電子分野、光技術、音楽などで技術的なところでの連携を模索していきたいというお話がありました。

それから21ページ目からは農産品に関するものです。三越の現地法人の方々いろいろな状況を伺いながら、輸出入の現状についてお話をさせていただきました。浜松からいろいろな展示会に参加したり、いろいろなバイヤーを通じて商品のPRをしたりと頻りに食材の輸出をしていますが、なかなか拡大していかない。一番分かりやすい理由は、日本で流行ったものが売れるということでした。当たり前と言えば当たり前ですが、既にインターネット等で日本のメディアの情報が直接流れていますので、ほぼタイムリーに日本で流行っているものが台湾の人に売れていくという状況の中で、日本で売れないものを売ろうと思っても売れないという実態があります。ただし、売れているものに関しては高価格帯でも売れるということも分かりました。例えば、視察の時期は日本のシャインマスカットで通常二千元や三千元で流通しているものがあります。日本の超高級フルーツ店では、七千元や八千元、場合によって一万円ぐらいのものも即売れるということがありました。国内で有名な各地のお菓子、たまたまうなぎパイはそのときありませんでしたが、日本各地のお菓子も物産展の形式で展開をされており、上乘せされた価格で販売をされており、非常に人気だということが分かりました。

あと、三越さんではありませんが、非常に関心が高かったのは、自治体ごとの媒体の相対取引をしている実情があるということです。例えば、給食などで使う食材を自治体間で相互に特産品を売ろうという試みが始まっているというところがあります。このあたりは一般流通ではなく、まさに自治体同士、あるいは人的な繋がりですので、我々の議員団やあるいは民間経由で、自治体が予算をお互いに確保して売買することがあり得るということでしたので、これは研究の余地があると思いました。

23ページからは日月潭の話になります。夜に交流会が行われまして、我々と市長以下、公設団の皆さんと先方の南投県の観光関係の皆さんとの交流を行いました。私も5年前に協定を結んでからコロナ禍で交流が止まっていたという状況でしたので、その状況を含めて、日月潭との交流を再開することがメインとなりました。そこにこれまでの交流事業の経過も書いてありますが、もともと浜名湖と似ているというところからスタートしておりますし、遊覧船、ロープウェーそしてサイクリングというコンテンツも似通っており、それぞれが交流を結ぶ包括連携協定を結んでおります。止まっている状況をこれからどう展開していこうかというところで、新たに訪問させていただきました。数年ぶりに再開した方もいらっしゃるということで、非常に盛り上がりました。来年の浜名湖花博の際には、先方から使節団を設けて来ていただけるということでお話をいただきましたので、そのときにはぜひ歓待をしたいと思います。

この日月潭については、いわゆる国の支援がしっかりされているところであります。視察したビジターセンターも、日本の建築家が入っておりますが、非常にすばらしいデザインと機能性を有していて、ここ自体が観光施設になっています。こういった観光拠点を整備しながら、周辺のサイクリングロードなどきちんとした環境整備が行き届いているところを皆さんにも見ていただきました。まだまだ浜名湖は未開発のところがありますし、民間だけではなしえないところがありますので、官民連携の資本投入で環境整備を進めていく必要があるということ、視察団総意で感じ取って帰って参りましたので、今後の政策提言に活かしていきたいと思えます。

長くなりましたが、私からの報告は以上とさせていただきます。

○戸田誠議長(座長) 自由民主党浜松からの報告が終わりました。質疑意見があればお願いいたします。

○北野谷富子委員 市民クラブです。報告書が膨大で大変だったかと思えます。見せていただいて、非常に分かりやすかったのですが、2点だけ確認をさせてください。

1点目は、視察の後に、例えば政策提言や代表質問といったところに反映されたもの、あるいは今後反映していく予定があるのかということ。2点目は、幹事長の稲葉議員の報告は見ることはできますが、我々の会派だと個別の報告書も作っており、報告書の中に最後だけでも、視察した者達が遊びに行ったわけじゃないということも含めて、報告をするようにしています。そういったことは考えられなかったのか教えてください。

○稲葉大輔議員 前回9月に小野田議員が1回質問をしていると思えますが、この12月以降も、参加議員がそれぞれの所見からやっていくことになると思えます。代表質問では、今回は入っておりませんが、次回以降検討していくつもりでありますし、政策提言については、提言書の中に視察の内容をしっかりと盛り込んでいく予定です。

今回人数も多いので、個別の報告書はそれぞれ提出をさせていただきますが、今日の報告書は、この会議のために1冊にまとめたということでご理解をいただければと思います。また、個別のものはそれぞれ見ていただければと思います。

○酒井豊実委員 1点確認ですが、19 ページに括弧書きで浜松磐田信用金庫と書いてあります。些細なことですが、磐田という文字は漢字が正式のものか、ひらがなか、どうでしたか。

○稲葉大輔議員 法人登記上は漢字ですが、ロゴではひらがなを使っていると思えます。

○酒井豊実委員 貴重な報告なので確認させていただきました。

○黒田豊委員 16 ページに、台北市議会の状況が出ておりますが、台北市は人口が248万人。やはり大都市。選挙区は8区で議員が61名、そのうち女性議員が29名と約半数が女性ですが、このことについて背景など言及されたことはありませんでしたか。非常にバランスがいい議会だなと思えました。それと、野球のアジア大会がありましたけれど、台湾は近年非常に強力になってきており、日本のライバルになっていますが、スポーツ交流の話はありませんでしたか。

○稲葉大輔議員 まず台北市議会ですが、概要欄別紙という分厚い資料をいただきましたので、またご参考いただければと思います。イメージとしては、先般私どもは横浜に行きましたが、横浜市議会に非常に規模感が似ています。人口規模もそうですし、横浜は県庁所在地、台北は台北市、台湾の政府もあります。庁舎の横に大きな市議会棟があるわけですが、陳炳甫議員から議員の空気感についていろいろとお話をさせていただきました。もちろん議会事務局の皆さんともお話をさせていただきました。一番感じたのは、すごくカジュアルです。動画の中にもたくさん出てきましたし、女性が多いのもそうですし、若い方も非常に多くて、浜松も若い議員が増えましたけど、子供を連れてくるような格好だとか、そのまま家から飛び出てきたような格好であるとか、普段着で議場に来ている感じです。格式を問うという話がありますが、結構ショッキングな映像を見ました。それだけ一般化しているというか、いろんな方々が議場に来ているんだなあという感じがいたしました。

その中の交流で話がありました。スポーツについては今話題になっているドームの話もあったので、台北ドームも横目にしてきました。行程上組み込めませんでした。台北ドームは非常に参考になると思っています。スポーツの話は市長からも出ておりましたし、我々議会の中でもこれまでのスポーツ交流、野球は交流試合を行っておりますので、これまでの取り組みは非常に評価をされたいながら、もっとできることあるよねということ。

あと我々一番感じたのは、浜松市議会、今回、我々13人で行きましたけど、人数だけではありませんが、事業内容の交流規模や予算規模も含めて、国内の自治体はもっと積極的なところがいっぱいあります。浜松市として、大分遅れをとっている感じも受けました。ただこれは早いもの勝ちではなくて、そこにどういう特性を求めて、どういう結果を求めらるかっていうことになると思いますので、スポーツというところでもさらに一歩踏み込んでやっていく必要があると思います。少し情報があるところと言えば、松山市はスポーツと文化と音楽ということで、民間団体を含めて数千人規模で交流をしています。そういったところの違いもありますので、浜松として、台湾、台北とどう向き合っていくのか、これからさらに活発な議論や提言が必要だと思いました。以上です。

○戸田誠議長(座長) 以上で海外視察に伴う報告は終わります。

なお、会議録は、議会ホームページで公開します。また、海外視察報告書についても、議会ホームページで公開するとともに、議会事務局の受付カウンターにも配架し、希望者が閲覧できるようにしますので、よろしく願いいたします。

11:21